

2024年9月期第3四半期 決算説明資料

株式会社アミファ

2024年8月14日

amifa

スタンダード市場(証券コード7800)

『We are smile producers!』

全ては笑顔のために



2024年9月期（24/9期） 第3四半期決算概要

I

amifa

24/3Q決算の経営概要

【外部環境】

- + 春闘における大手企業を中心とした高い水準の賃上げ
- + 株式市況の活況
- + インバウンド需要の拡大
- + 定額減税の実施
- 日銀のマイナス金利政策の解除
- **急激かつ大幅な円安の進行**
- 諸物価の上昇

先行き不透明な状況で推移

【内部環境】

- + 新企画、新商品提案に注力
- + 採算重視の販売戦略
- 営業循環から外れると見込まれるの商品の評価引き下げ損失増加
- 物流量増加による出荷・倉庫関係費増加
- 労務費関係費用の増加

売上高は前年同期比増ながら、円安の影響、在庫関連損失及び物流関係費や労務費の増加を吸収できず、前年同期比で大幅に減益

24/3Q損益概要（対23/3Q）

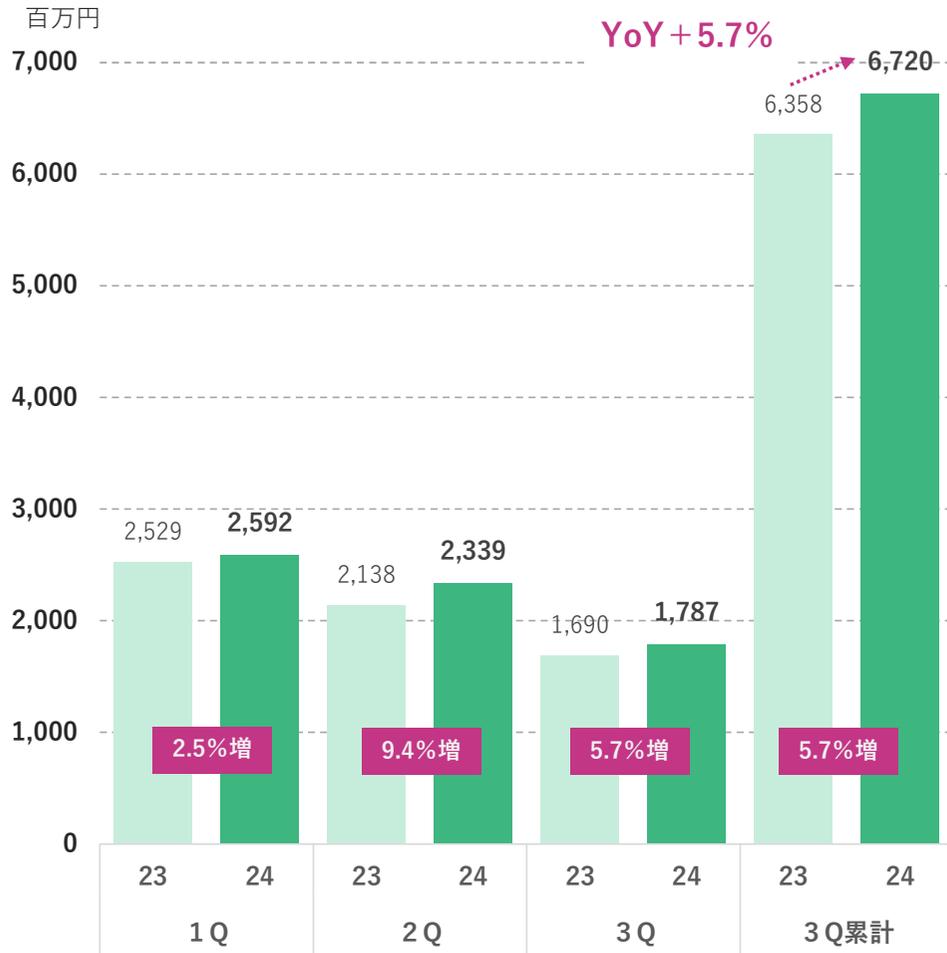
新企画・新提案の商品の提案に積極的に取り組んだ結果、売上高は361百万円増（5.7%増）の6,720百万円と前年同期を上回ったものの、急激かつ大幅な円安、商品評価損を含む在庫関連損失、物流及び労務関連費用の増加等により増収ながら大幅減益。

（金額：百万円）

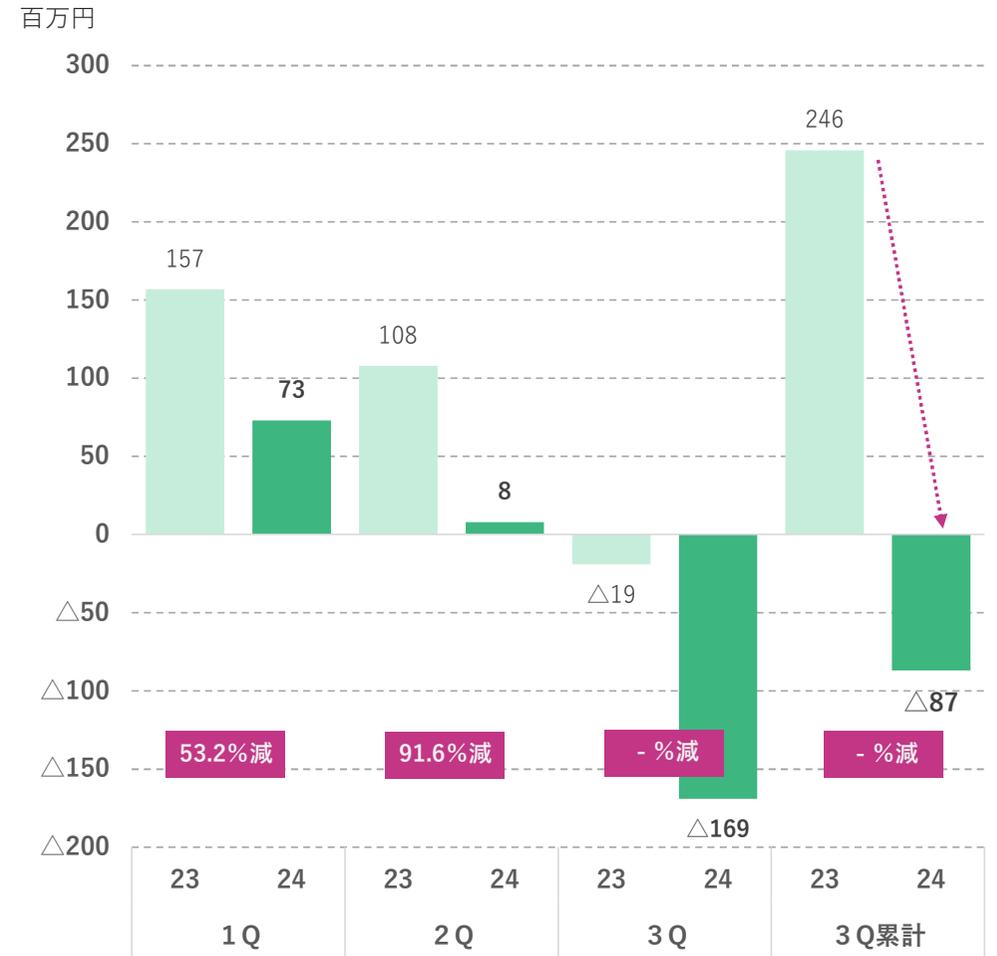
	23/3Q	24/3Q	対前年同期比増減	
			金額	%
売上高	6,358	6,720	361	5.7 %
営業利益	(3.9%) 246	(- %) △87	△ 333	- %
経常利益	270	△105	△ 376	- %
四半期純利益	169	△72	△ 241	- %
1株当たり 四半期純利益(円/株)	52.94	△24.12	△ 77.06	- %

24/3Q 売上高・営業利益推移（対23/3Q）

売上高は着実に増収



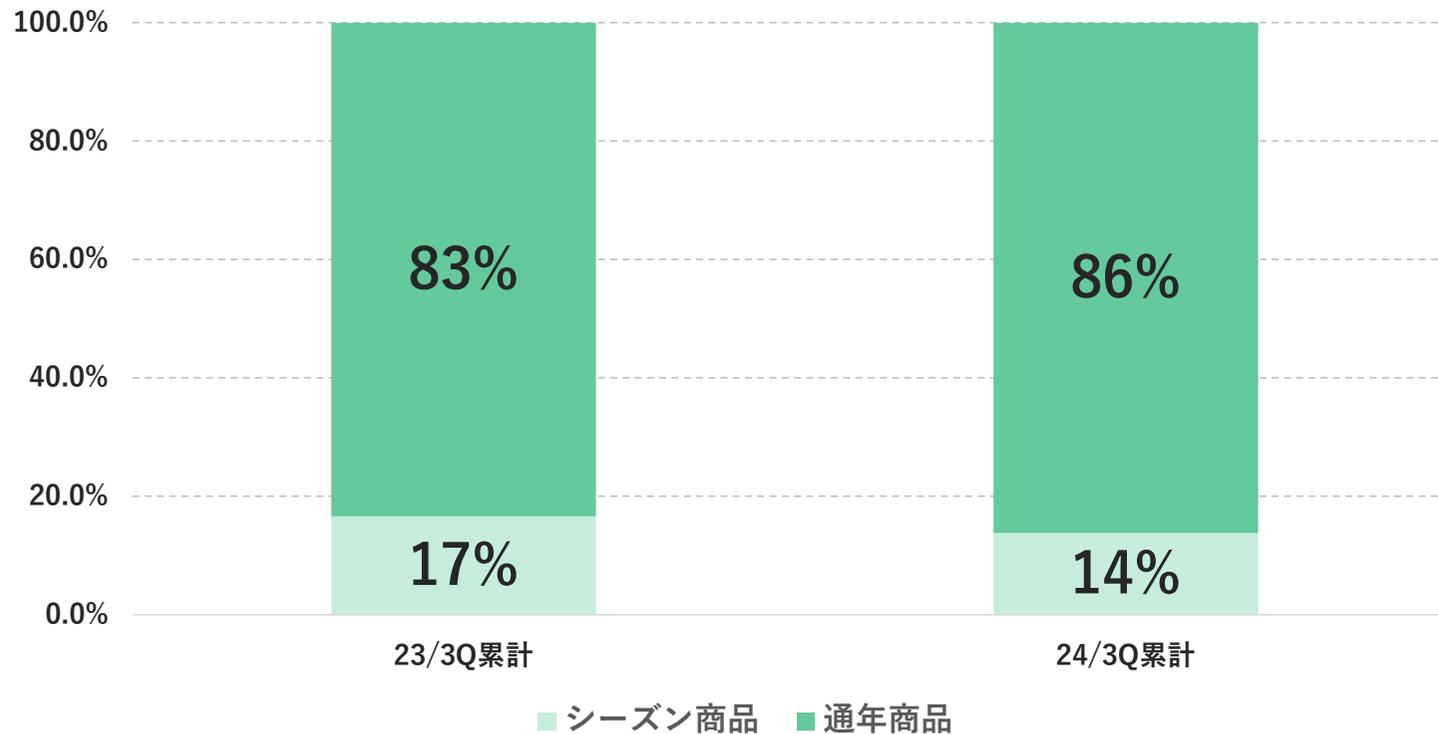
営業利益は大幅に減益



24/3Q 「シーズン商品」と「通年商品」比率（対23/3Q）

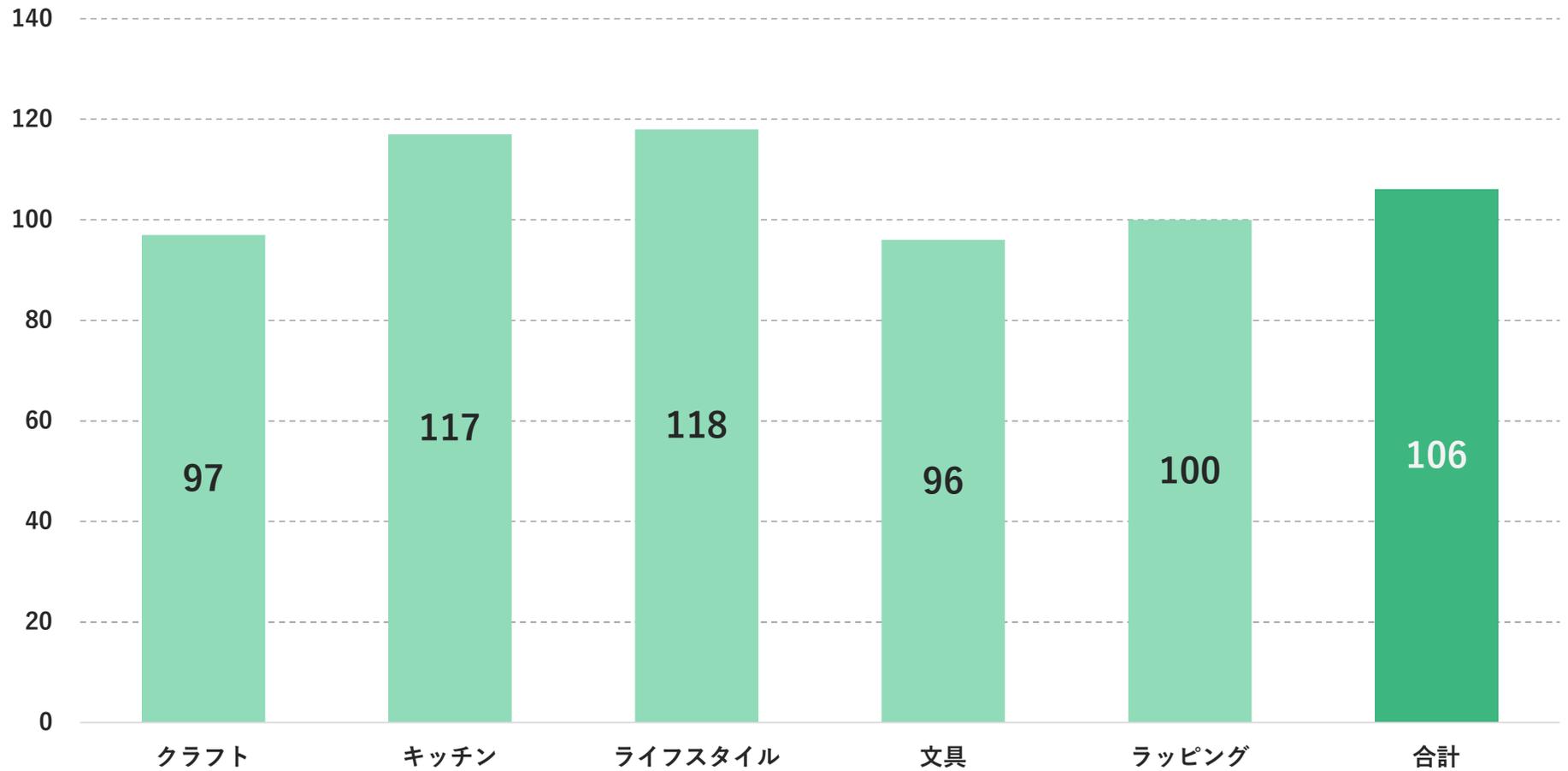
「通年商品」構成比は83%→86%へ

バレンタイン関連商品の売上減もあったが、生産性アップと売上安定化を目指した「通年商品比率アップ戦略」の効果により通年商品構成比は86%まで上昇



キッチン・ライフスタイルが堅調に推移

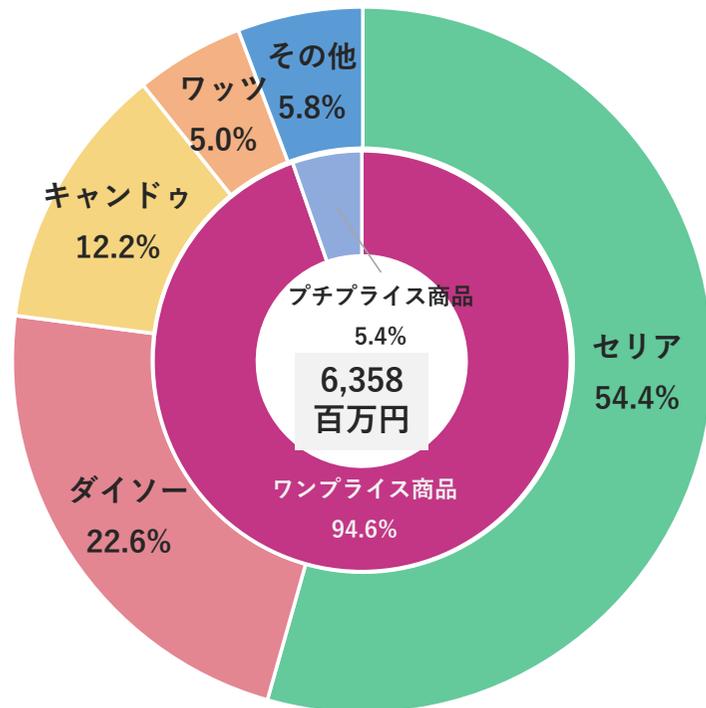
(23/3Q=100)



顧客別売上高推移（対23/3Q）

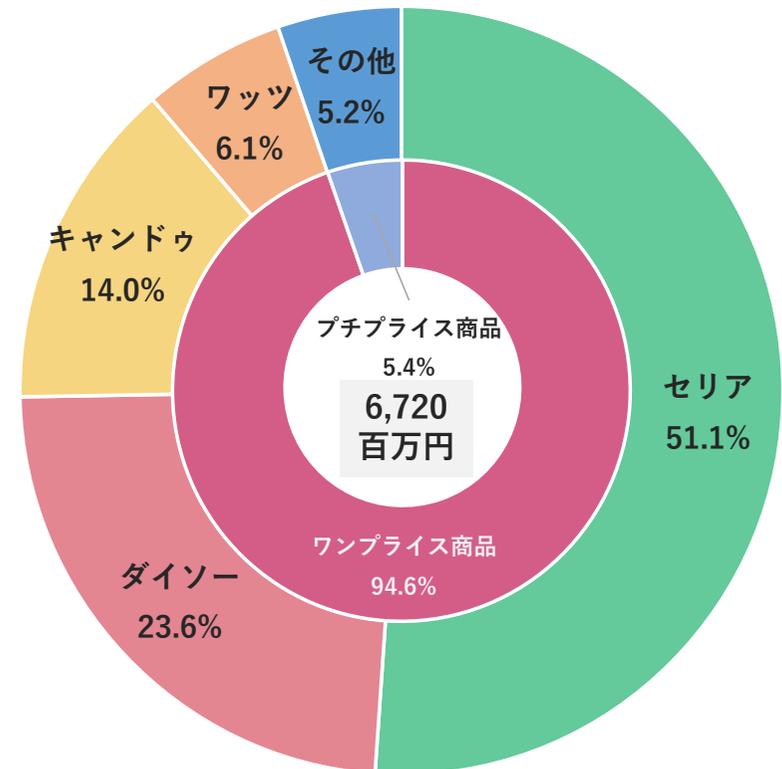
セリア：主力商品であるラッピングの販売が苦戦したことにより売上、シェアともに減少
 キャンドゥ：衛生用品、キッチン用品が販売を牽引し、着実にシェア拡大

23/3Q



361 百万円

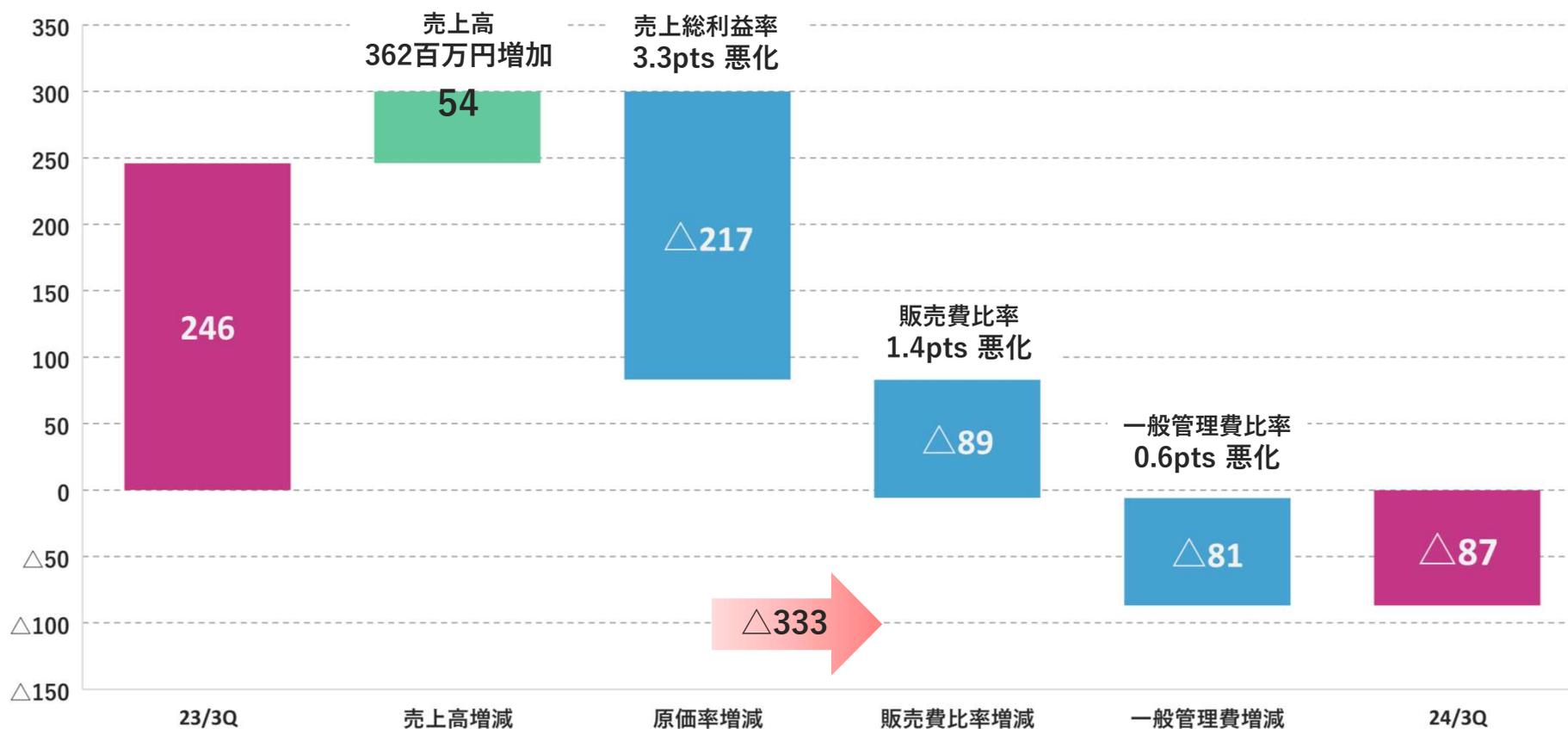
24/3Q



営業利益増減内訳（対23/3Q）

粗利改善努力の効果等があったものの、為替の影響（大幅な円安）と商品評価損を含む在庫関連損失が大きく、粗利率は3.3pts悪化。
 物流量増加に伴う物流関連経費及び労務関連経費の増加により、販管費率は前年同期比で2.7pts悪化。
 その結果、営業利益は333百万円減の△87百万円。

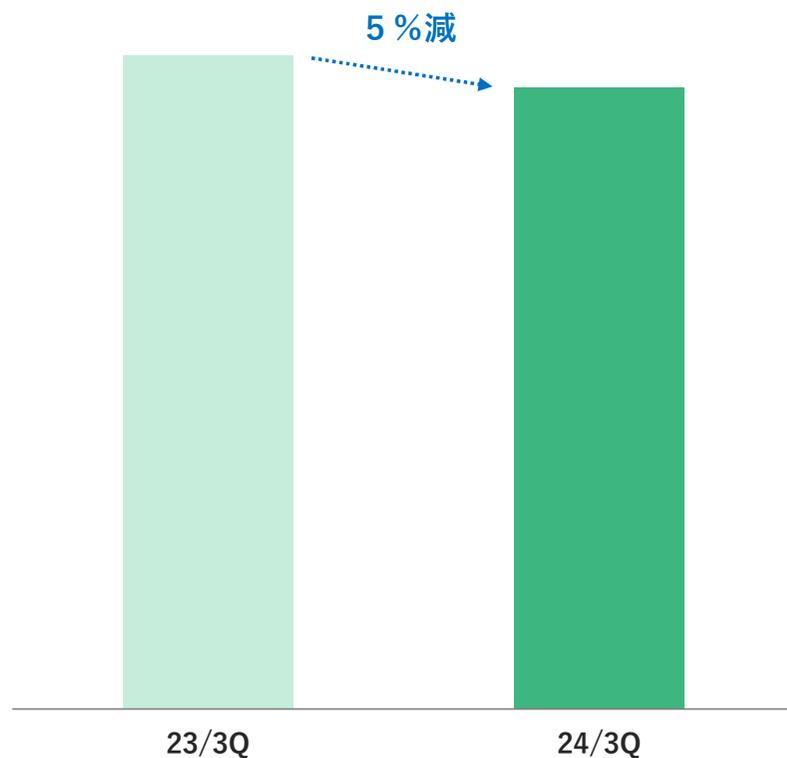
（百万円）



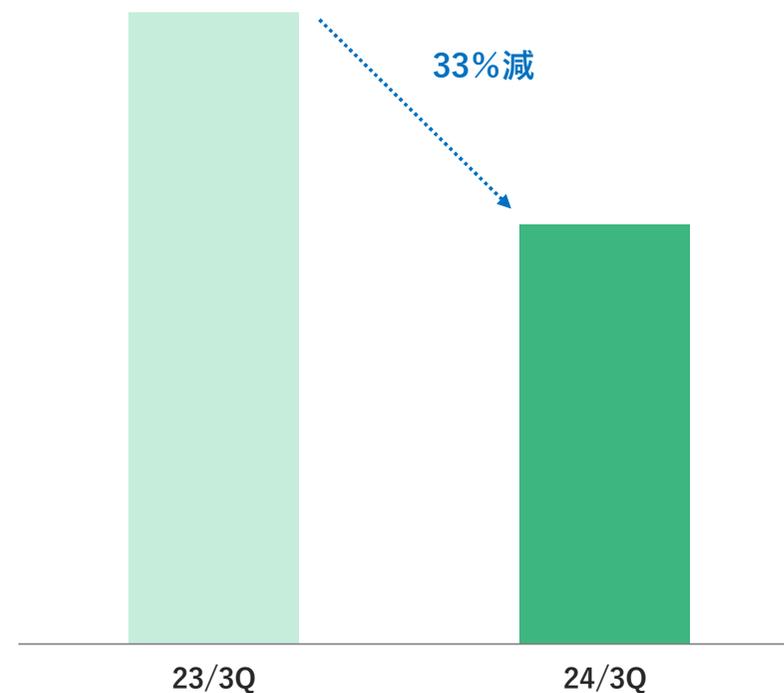
従業員 1 人あたり売上高・付加価値額推移

売上高は前年同期より増加するも、人員数の増加により従業員 1 人あたり売上高は減少
円安の影響、在庫関連損失及び物流関連費用の増加が中計③「ICT推進」・中計④「プロ集団への進化」の取り組み効果を大きく上回り、1 人あたり付加価値額も大幅に減少

従業員 1 人あたり売上高



従業員 1 人あたり付加価値額

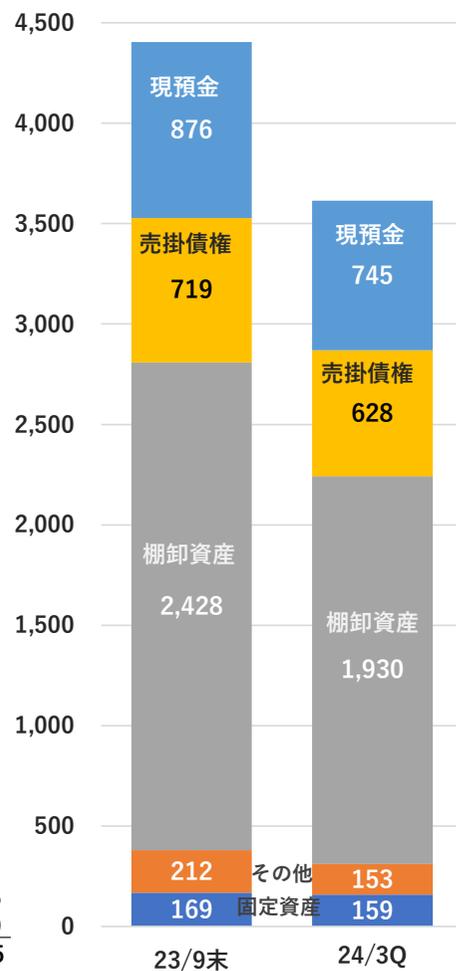


貸借対照表

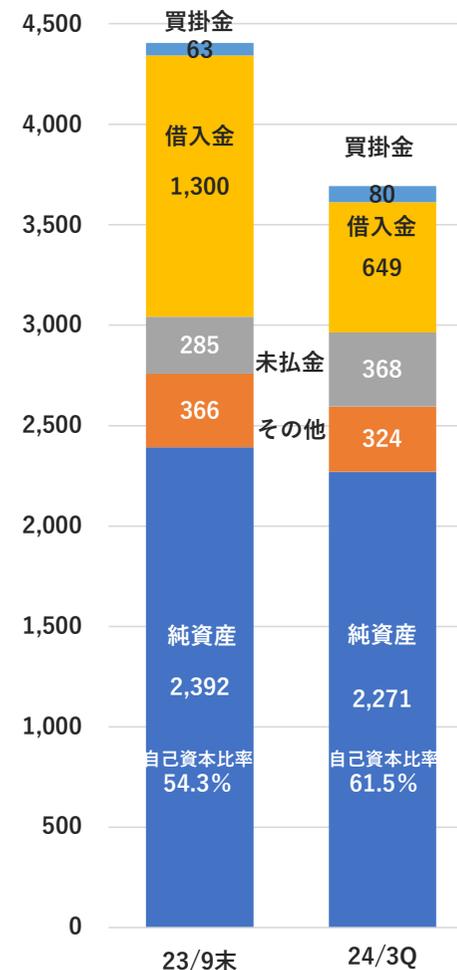
(単位：百万円)

科目		23/9末	24/3Q	増減	内訳
流動資産	現金及び預金	876	745	△ 130	内、売掛金 △84
	受取手形及び売掛金	719	628	△ 91	
	電子記録債権	3	20	0	内、商品 △510 未着品 +12
	棚卸資産	2,428	1,930	△ 498	
	未収還付法人税等	0	60	0	
	その他流動資産	212	153	△ 59	
	貸倒引当金	0	0	0	
	流動資産計	4,239	3,537	△ 702	
固定資産	有形固定資産	44	40	△ 3	
	無形固定資産	68	67	0	
	投資その他の資産	56	51	△ 5	
	固定資産計	169	159	△ 9	
資産計	4,409	3,696	△ 712		
流動負債	買掛金	63	80	16	内、当貸 △1,200 1年内長期借入金 +99 未払消費税等 +90
	短期借入金	1,300	299	△ 1,000	
	未払金	285	368	83	
	その他流動負債	79	34	△ 44	
	流動負債計	1,728	783	△ 945	
固定負債	長期借入金	0	350	350	
	長期未払金	254	254	0	
	退職給付引当金	33	36	2	
	固定負債計	287	641	353	
負債計	2,016	1,424	△ 591		
純資産	資本金	37	37	0	自己株式処分 23,634株 (持株会)
	資本剰余金	273	273	0	
	利益剰余金	2,191	2,046	△ 144	
	自己株式	△ 157	△ 141	15	
	繰延ヘッジ損益	47	55	8	
純資産計	2,392	2,271	△ 120		
負債・純資産計	4,409	3,696	△ 712		
					為替予約評価損益 72 → 85 繰延税金 △25 → △29 繰延ヘッジ損益 47 → 55

資産



負債・純資産



2024年9月期 業績予想

II

amifa

24/9期 業績予想 (2024年8月14日修正)

(単位：百万円)

	24/9期 業績予想 (2023/11/14)	24/9期 業績修正 (2024/8/14)	対前年同期比増減		23/9期 実績
			金額	%	
売上高	9,275	8,700	△575	6.2 %	8,131
営業利益	240	△400	△640	- %	181
経常利益	235	△420	△655	- %	202
四半期純利益	154	△370	△524	- %	147
1株当たり当期純利益 (円/株)	51.09	△ 122.81	-	- %	46.89
配当(円/株)	24.00	24.00	-	-	24.00
配当性向	47.0%	- %	-	-	51.2%

24/9期通期の業績予想 (修正)

売上は過去最高を更新も、採算重視の販売に注力したことにより業績予想を下回る。採算重視の販売の効果、生産性向上の成果もあったものの、急激かつ大幅な円安による輸入商品仕入価格高騰の影響、在庫評価損、物流及び労務関係費用の増加等もあり、大幅な減益となる見込み。

2023年11月14日に公表した通期業績予想を達成することは困難と判断し、業績予想を下方修正。

配当は24円/株の予定 (変更なし)

為替変動に強い経営体質への強化策

収益性向上施策

- 適正在庫の徹底
- 在庫回転率向上
- 高収益商品への洗い替え徹底

事業構造の改革

- 不採算事業撤退
- 成長カテゴリーへ重点投資

徹底した原価低減策

- 生産工場複数調達徹底で有利な価格交渉
- 商品開発から販売までの期間短縮
- 商品サイズ適正化で物流効率向上
- さらに品質向上し廃棄ロスゼロへ

人材育成と配置の適正化

- 収益重視の人材再配置
- 社内業務プロセスの無駄削減
- 人材育成をさらに強化、専門化
- エンゲージメント向上
- DXをさらに推進、AI活用検討

24/9期 3 Qの商品トピクス

III

amifa

レジャーキッチン企画

2024年4月より43アイテムを発売したレジャーキッチン企画。

なかでも、ランチボックスの保冷やスポーツ後のアイシングにぴったりのダイカットクールジェルは使うことが楽しくなる可愛いデザインが大好評でした！



キャンドウ夏ネイル&ネイル雑貨企画

キャンドウ向け100円&高額帯のネイルグッズハイブリット企画を2024年4月より発売。
ネイルシールやチップだけでなく自宅で本格ネイルができる道具を21アイテム展開しました。



梅雨企画

梅雨企画では新規素材を使った機能性の高い商品の開発に挑戦しました。

濡れた折りたたみ傘を収納する愛らしいデザインの巾着型収納袋、お手持ちの傘をカスタマイズして楽しめる、工夫を凝らした傘マーカー等を2024年6月より9アイテム展開しました。



＜お問い合わせ先＞

経営企画室 IR担当

メールアドレス：ir@amifa.co.jp

本資料における将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証をあたえるものではありません。
予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。